

怪獣ゴミミラ



南国上陸!?

現在の日本はごみが爆発的に増え続けています。これは大量生産・大量消費のシステムによって、私たちのライフスタイルと物に対する意識がすっかり変わってしまったからです。

私たちのまわりには、あらゆる物があふれています。その一方で、使い捨てられた大量のごみをどのように適正に処理するのか、地域に散乱のごみをどうするのか、といった深刻な問題の対応に迫られています。

ハブルがはじけ、使い捨てをやめてリサイクルをしようとする動きや、ごみを減らそうとする動きが盛んになってきた今、南国市の現状を見ながら、三回シリーズでごみ問題を考えていきます。



**南国市のごみの現状**

現在、南国市のごみ排出量は年々増加の一途をたどっています。ごみ処理基本計画によれば、このままの勢いでは二〇〇一年には年間一万六千トンを超えるごみが南国市内で排出されることとなります。ちなみに平成五年度のごみ収集量は一万五千二百トんで、処理費用の総額は約四億円（人件費を含む）かかっています。これは一般会計の二・六割

市税の一〇・五割になります。ごみの種類別に見ると、可燃ごみは総量の七割弱を占め年々増加しています。不燃ごみについては、不燃物は年間約二千トんで横ばい状態ですが、金属ごみが著しく増加しており、可燃ごみと共にごみ全体の増加の原因となっています。

南国市では、定時ステーション方式で可燃ごみに限り指定有料ごみ袋制度を取り入れていますが、ルールを守らずに出されているごみが、たびたび見られます。不燃ごみの出し方は特にひどい状態です。ステーション以外の所に捨てたり、収集日の何週間も前からステーションに置きっぱなしにしている方が後を絶たず、収集業務に支障をきたしています。

**バンクしかけの埋立地**

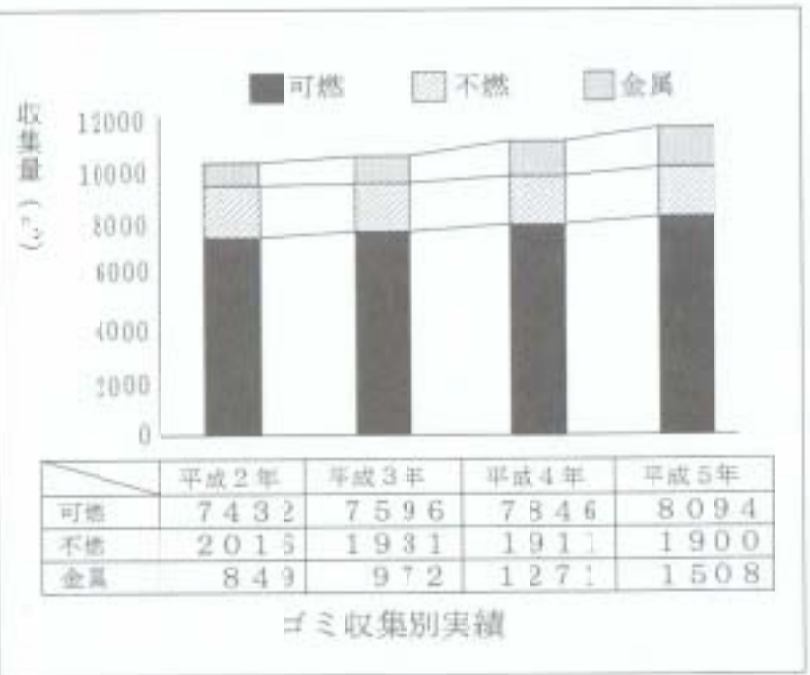
片山地区にある埋立処分場は、昭和五十二年から埋立



を開始し、もう少しで埋立て完了となるところでしたが、埋立処分場への不燃物の搬入が平成十一年度までの六年間可能となりません。ごみ収集量を上げられる高さが二割足らずであることや、新しい埋立場を完成させるためにはある程度の年月がかかることから、六年間のうちに埋立てスペースがなくなってしまうのではないかなければなりません。そのためには私たちの努力と工夫が必要です。

今後の課題

増え続けるごみをいかにして抑え、処理していくかが課題となりますが、現在最も重要な課題は埋立場の負担を減らすことです。また、埋立場を建設するには二十五億円以上もの費用がかかるので、今後つくられる埋立場を少しでも延命させることも考えなければいけません。その方法としては、収集形態を改善して、今まで埋立てしていたビン類を資源化することや、PTAなどによる廃品回収事業を活発化することで埋立場の負担を減らしていくことがあげられます。ビールビンなどの再利用できるビンは、酒販店な



どに引き取ってもらうこともひとつの手段です。

**必要な意識改革**

ごみを資源化することによりある程度の減量を図ることができます。しかし、大量消費・使い捨ての生活によって増え続けるごみを減らしていくためには、根本的な解決になりません。

今一度市民一人一人がごみに対する意識を改め、大量消費を減らす必要があります。

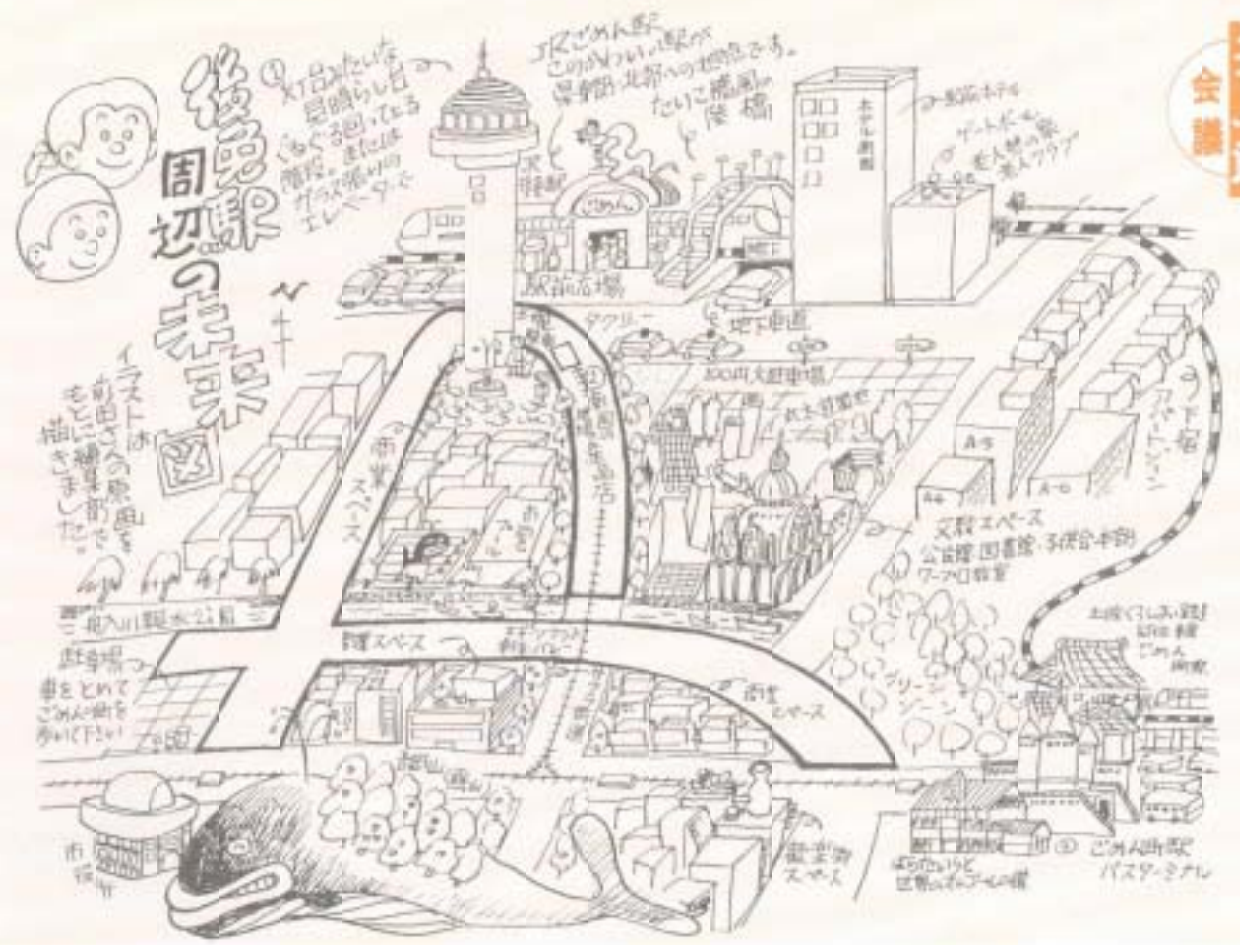
「物を大量に消費し、少しでも古くなったものは捨てる」とこのような考えは、文明国の中で物におぼれた人間のエゴイズムであり、これこそ古ぼけてしまった考えなのではないでしょうか。(次号へ続く)

**フリーマーケット開催**

11月6日(日)午前10時～午後2時

土曜市朝陽館

不用品を安価で販売します。



アイデア②

南国のネーミングを生かして

旧村意識をなくし日本一づくり



**その一**  
高知空港から東京まで一時間そこそこ、大阪まで四十分のエリアとなりましたが、南国市として独自に変化発展したものが見えます。

小生昭和三十三年から約三十年間東京生活でしたので、南国市というネーミングにたいへん新鮮味を感じたことでしたが、今現在どうでしょうか。  
市民の心情も合併する以前と少しも変わってないように見えます。長岡村民であり、三和村民であり十市村民のようです。

そこで一つの提案です。  
南国市民としての心のきずなを強くしていくために、夏の夜、南国市のあちらこちらで散発的に打ち上げられております花火を、土佐のまほろば祭りとかで、一か所にまとめて「南国市の花火」として盛大に行うことをしてはどうでしょうか。南国市民はもちろんのこと他市町村からも「南国市の花火を見たい」となり、交流人口も増えるでしょう。



こんにちは。ぼくは「アイデアポスト」に来くん。毎月市民の皆さんから楽しい夢やアイデアをもらえるんで、とってもうれしんだ。今月もぼくのお腹に何通かお手紙が入っていたんだけど、その中から前田ゆうさんと沢村雅尚さんのアイデアを紹介します。  
前田さんは後免駅周辺の未来をイラストに描いてくれたんだ。こんな楽しい町だったら人もたくさん集まるだろうね。  
沢村さんのアイデアも、これから南国市

アイデア①

私の都市再開発

後免駅周辺の未来

後免町は、高知県東部の心臓部です。  
後免駅周辺の未来図を思い浮かべてみました。  
①灯台みたいな見晴らし台落ち着いた色合いの陶板を張付ける。ここから南方を見ると街路が南国市の「マーカー」になっています。  
②南国の地場産品店……米、ウナギ、メロン、ブドウ、ネギなどの地場産品。

地域を紹介できるパネルなどを展示した落ち着いた雰囲気。茶屋風の様子。ゆったりとしたスペース。しかも地域の人の入りやすいにぎわう店。地域の顔の役割。少し高級な和風の外観。赤いのれん。  
③「めん町ターミナル」……ここは他の地域とのつながりのある駅です。物産村キヤンプ場・農物部前・夜須

町水上スポーツ、月見止界民の森、土佐山田の山田太鼓、赤岡のドロメ・地びき綱、安芸市の陶芸、室戸岬の御田祭、くじら舟、圓豊町の歴史民俗資料館。  
(下末松 前田ゆう子)



その二

南国市民および企業の所有します自動車にステッカーを貼っていただきます。  
例えば、「すてきな南国市」

「私は南国行が好き」とか良い標語を募集をし、そのステッカーを車に貼ります。県外を走るとき、また県内外からのお客さんの目に触れさせ、「南国市」を思い浮かべただけで何かが変わってくるのではないのでしょうか。とにかく南国市は日本一なるものをお互いに創造して作っていきましょう。  
(会長 沢村雅尚)

姉妹都市 おおのく 岩沼市



岩沼ビッグアリーナ

岩沼市では、スポーツの普及振興により、心身の健全な発達と福祉の増進を図ろうと総合運動場を設置しています。その一画に総合体育館があります。

昨年7月にオープンしたこの体育館。今では、市民から募集した愛称、「岩沼ビッグアリーナ」がすっかり定着しました。

ビッグアリーナは、バレーボールコートが3面とれるメインアリーナを中心に、サブアリーナ、トレーニングルーム、卓球室、体力測定室、幼児体育室、1周200mのランニングコースなどが設けられています。また、メインアリーナには、固定席1,323席の観客席が設けられており、落成記念で開催された日米対抗女子バレーボール国際大会のようなハイレベルな競技を観戦することもできます。

平成13年、宮城団体の青年男子・女子6人制バレーボールの競技会場に決まっていますので、高知県代表として南国市の選手にぜひ、ビッグアリーナで熱戦を展開してほしいものです。

アイデア・ポストは、市民のみなさんに自由に市政に対する建設的な提案をしていただくポストです。

21世紀、さらに未来に向けて、住みよいまちづくりへの提案やアイデア、ニニクな提案をお待ちしています。

個人を中傷するような内容は、ご連絡ください。名前もお忘れなくご記入ください。